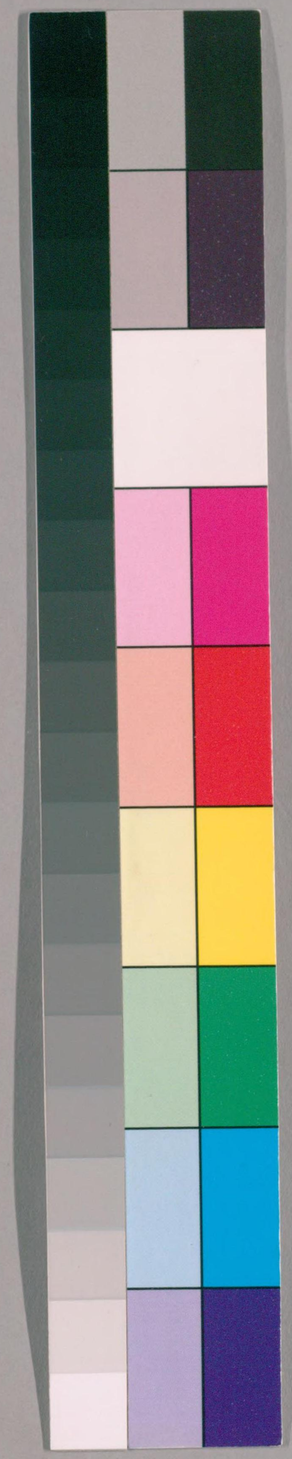
862
1

69



国立国会図書館　タイトル『土佐漂流人口書』 請求記号 862-1

ガラス使用

ガラス使用
国立国会図書館　タイトル『土佐漂流人口書』　請求記号 862-1

862-1
(69)

土佐漂流人口書

土佐国宇佐浦鯉舟

船頭　傳蔵　四拾九歳

水主　定助　年ふ初

同　文蔵　年廿七歳

右之人口書

同　寅鷹　卅七歳

カシキ　万次郎　廿六歳

国立国会図書館　タイトル『土佐漂流人口書』　請求記号 862-1
ガラス使用

右之者共今般御呼出子年ゟ十三ヶ年跡正月五日漁事の為宗船を以て宇佐浦を乗出し
たる處縄といふ事居船乃南海に於て七日目ニ至り乾の風荒く縄桶二ッを流したる
上ハ今ノ東ノ鼻ニ漂ひ更ニ舟ハ乾のことく流されて櫓四挺共奪はれ楫を損し只其儘に
任せて流れ十日風雨荒く衣服合水ニて甚難儀し十二日之暮方に至り友九郎と
云ふ者海中に浮むと見付船に引揚け一同ゆるしける處浮ぶ内ハ近き島より小島を見し名色を
付見しとて海上を見渡し不果して漂流の幸して漂ひて船を寄れハ岩石
屏風を立たる如くにして船の寄へき所なし先角十町計りして東の方を目当に
舟を付け五人共上陸を遂十三日巳時にて事也

一 右船ニ漂ひ舟破損しこれハ働き至床りけり其段ハ元付なる所に流れける
海岩の所を少しつゝ合ふに至り出て其の後ひ居たり

一 其島食物なし友九郎果物を添て居り或ハ乾之くし又ハ生ニても
汐にても食せ

一 水なくつりし候甚難儀候漂着の砌水桶二ッ彼ニ寄来るを拾ひ是を漏る
乃とれりて飲なりしも少く日和ニ成ハ切まるゆへに小便を手に溜め飲
て渇を凌きしか其とも飲尽か小便も至てなし

一 彼ニ見此地の品見付是を考へ居候ハ東西なり漂し点り其たる計り草木を
生せし菖蒲芦萱の類ハ西に生き其頂上平地にして井なり潮ニ溜り有る
水を飲しかハ大ニ力を得たれハ又墓の如きもの哉なり

一 四月中ニ至り友九郎果物も食尽し後ニ不出く海苔の類を取りて食しか友九郎
ハ子供有ふし鯨又ハ鯨肉を喰来る是を追落して其肉を食する事なりかたり

一 五月之比ハ下肌く働きと中にて重助ハ病癖にてハ病臥しもすと海苔
此類を取りて漂くへしも更に看病せ

一 右之所数ハかく計り肌に及ひしとも未だ丈夫にして元来を損せし健なり

一 五月中旬沖合より大舟来る帆柳に旗なりしを見れり我差之衣を振り出し候
所居振く右大船漂ひ寄せんものとさ小船をおろし来り五人共直ニ右方に
と云せ候へとも尚鯨を取る人残り居る仕形して舟をとらせ伝蔵重助をも乗
せ漂り

一 此大船ハ大東洋亜墨利加国之鯨舟ニて船長をフイツヘルトと云ふ傳る八艘積之舟二

一 洋中鯨を見ると小舟八艘を卸し其舟八艘にて鯨を追捕て取鯨を追寄せ突き
肉と皮とのあひたに刃を入れ皮をとれり肉ハ洋中に捨てありまた

託を受九郎鯨肉を啄来るハ多地肉なり

一 鯨油を取るにハ前に形ある油ゝ所を焚取り中にたり油ハ樽に諸又蠟燭の下にて
なるものに製するなり

一 其年の霜月ウハフの國に着舟に異人ハウノ字ヲ除テハフト云ふ似タリ

一 雨の日ハ盃浅ゝ所にむけきるやうき笠浅冠り日和にハと用ゐて何みし笠浅
きるに笠のうしろに穴ありきより今でにおくる髮を出し寄るなり

一 髮日本のごとくなるものをなしてにおく女の髮ハ天神をしくひしゝ以てなるなし
白粉紅粉ハ用ひて

一 上品ゝ人ハ皆ゝ鉄炮を携ひ日本ゝ常刀のやうしゝ上ゝ杖を持て紫檀黒檀ゝ乾
ゐて製す

一 ハフ國大きゝ大船四面位七隅立て甚繁栄に此国の津とに西洋國より舟入津し
日本大坂のやうき地ゝ為蘇女所ありて

一 件ゝ鯨舟此国に入津し亜墨利加國分居人家処ブタチヨチと申役人に乾金
鯨舟ハ万次郎ゝ人家せセツセツセと云処ゝ居舟に見分アメリカ国中の舟の住居
する地なり

一 万次郎ゝ所四人ハタフタチヨチの世話になり居たまとも言語不通彼ものの或朱判
寛永通宝とかし此國なるやと仕形を見人を平伏をまゐやうて日本人と悟りたる
様子なり

一 四人ゝ所のたタフタチヨチにたれ渡世ゝ人事をたんのふを信ゝタチヨチの世話
ゐて荷物日雇様始むといふ

一 ハフ國時候日本の九月のやうし年中霜雪を救ふしてよろし

一 祭ゝ事の事にアメリカゝ教て月七日ゝ日本の元日のやうし家ゝ戸ゝ残ゝ
祭ゝ残なるに見ハ六日世界の残の数にて三日の七日天神を祭るよ志なり

一 食物ハ田芋竜芋是食なりこゝ中に麦ゝ食なり米ハ諸國分積米ハとも
ゝ和と世に魚類ハ小鯛の数ゝ貝ハ日本にかゝらに磯魚ハ日本に無ゝ魚多し
漁事ハ甚不調法なり日本の海上のやうきにあつて海中ゝ入て岩ゝ底に居る海
老を乞来る

一 家ゝ古ハ萱葺なるしを五十年前アメリカより此國を買いてより今
ゝ板又ハ石にて二ゝ板国の家多し此家根をふく石湊にて大石にあり板の
めくへあるを乞つて葺といふ寝る時ハ棚のごとく仕つらんさる所に入て外に

国立国会図書館　タイトル『土佐漂流人口書』　請求記号 862-1
ガラス使用

ゐる麻姿城人ゟ見ると残猶てなり

一七月一王死ると王死る時ハ棺ゟ納ると発ゖやさ屋ゟ入奈城なゐ七城ゐく
埋先ゐしゐふ兵申芸城ゐる事日おゟ同ゐ一家老土ゟて八棺ゟ用ひ下而ハ
火葬なり枝ハ日本製ゟ似く外枝なり

一時城巻ふ小湊ゟふハ貴日徒く大砲ゟ発く是城并ゟりなり

一清発始先三人ハ荷お物ゟ日雇ゟなゐ重勘ハ積奈ゐ地ゟ而ゟ狭い地ゟよゐ三人ゟ家作て
ゐるふハ日本稲ゟ植るのゐく茎ゟ切て植るゐく似なり

一百姓の業ゟなゐふ

一右三人彼国ゐ役人ゟ乞酒出役ゐく奈城ゟ入則役人業ゟ鍾お小便お比
寅ゟ業つハ毎ゟるく彼国ゟ残ふ比ゟ異ゐ地ゟ当ゐ名ゟ号ゐ名ゟ人
かゐるゟ禁ゐ長用ゐ脚ゐ之法ゟゐ八ゐく迎ゐくく人新なゐ是非なく再ゟ鍾お
ゟ奈りハフ国ゟ海ゐ是彼国ふ当りて六車振りなり

一万次郎事ハ亜墨利加国着舟ゟ後フイツヘル比ゟ書物ゟ貢献ハ自分に働きフイツヘル
ゟなゐ学問ゟ役ゟい　おて師匠ゟふ礼書ゟ

ゟハ食物ゟ比ゟ法ふなゐると事ゐ之内小千ヒタ此ゟ而ゟ師ゟ游学ひゐる事ゐ六ヶ月

程なり也ゐ

一亜美利加国政事大抵日本ゟ同ゐ一十二ヶ条ゐく法令書ゐく頗ゐく事なゐ

一王ハ七人ゟ北亜美利加三十六國ゟ分ゐる時候日本ゟ同ゐ一王ハ國中ゟ賢者ゟ撰ひ出ゐ一ヶ年お
國ゐゟ一王ハ國中ゟ賢者ゟ撰ひ出ゐ一ヶ年お
奉お王ふ彼来ハ一僕任ゟて政務ゟ執ゐ一年十二月日本

一亜美理加國近来和蘭陀ゟり世話ゟて并ひゐる国ゟ多ゐ而ゟ国ゟ
号ハ同さてゟり比一ヶ年号ゟゐく同ゐ一ヶ年号ゟ通ふ事ゟなゐ一年十二月日本
に同ゐ一正月義式お八ゐ

一彼来車に宗教ゐ八十六ヶ条ゐく並ゐ舟のゐく火輪お車ゟ車ゟ在ゐ

一文字ハ二十六ヶ十露盤ハ角ニて製ゐ日本ゟ不同大方ゟ城ふつゐる而ハ年利ゐ

一人物ハ篤実寛仁ゟて悪ゟなゐ人殺盗賊お八ゐ而ゟ法ゟゐ而ゟ重ゐ而ゟ

一婚礼ゟ或ハ家組ゟして日本ゟ同ゐ一ヶ

一婚礼ゟ或ハ家組ゟして日本ゟ同ゐ一ヶ　婚ゐ則ゟ女城お連お山お
ゐる常ゟ事ゟなゐ婚礼ハ神楽ゟて酒ゐり支婦ゟ
ゟさゐりとぐ

国立国会図書館　タイトル『土佐漂流人口書』　請求記号 862-1
ガラス使用

一麦ハ粉玉子油酢を入レ團子の如くニ品ニ致シ食ス
一上品ニ人ハ酒ハ飲ムとも呑ム事ハ呑ヘ共不品ニ呑ム事ハ
呑ヌ
一支那ニ情深ク家内睦シキ事ハ隣国ニ無シ
一辺氐南ハ亜爾理加國ヨリ隣ニ戦ヒ北アメリカ勝利ナレ
ハ戦中万次郎無舟ニテ辺ク見タリ
一文武ニ秀テ古盛ニテ刀ハ大造ヒニテモ差ス馬ハ乗ル
ハ勿論ニテモ差ス日本ニヤサシキナリ
一異物陶ナシ硝子錫ハ類ナリ
一醫ハいつニテ居ケレ共蘭國ヨリ醫者来リ居ル
熱病ナリハ療治桶ニ水ヲ入レ病人ヲ其中ニ入レ
シテ熱ヲサマシ又ハ氷ヲ取ヨセル人カ
一西洋種痘ハ万国ニ行ワレ亜爾理加國ハ痘出レテ
人数損スル事ナシ故ニ種痘ハ及ビ安ク云ヘリ戦大概日本ノヤウ
獅々ハナシ

一大体多ク日本ニ似タル処ハ支那ニテハ無キ大抵ナリ
一切支丹ノ
一万次郎ハフイツヘルホルヒ又獨乙ニモ無舟ニ乗リ
津々浦々ヲ見聞シ又ハ蘭人ニ従ヒ江戸ニモ来リ
ハニハ桶ニ一杯ノ事ニテ鯨六七百本ヲ討ハ酒ニシテ又水ヲ
取ラス海ニハ舟ヲ子ヲ出ス時ニ氷ヲ割テ進ム
海中ニ鯨寒氣ニ氷ラレ死ク浮ビ出ル
一天竺ノ内交阯吧ノロンボウ國ニモ上陸ヲ大ノロンボウ
ヨリ鴻茶ヲ買テ食ヒ又ヤシウノ實ヲ食フヤシウノ日本ノ
ヲ腰ニ下ルヤウニ傍ニ一種ノ深山ニアリ
實ハ食ヒ人死スルマデ集テ食ヒ又アヘンハ草ニテ
一或時洋國ヘ廻リハ万國ニ上陸シ前寅ノ年万次郎
再ヒアメリカヘ渡ル是源右ヱ門別ヲ送ル
来ル酒ニシテ未ダ湊ニ舟カヽリノ前ノ通リ

一 万次郎事太陽国之為来をなせしより金銭給へされども家閑ひ難しと工夫し南
墨利加国之金山に金銭掘る此地温泉にて金ハ自然温泉に湧きかゝりたる
物多し一度金を取帰り家人様に心の内帳乞して再び金山に行と呉しハフ
国に迎来り侍衛等に命じに舟を作りアメリカ国商船に便を乞ひ来船しく
琉球国四拾里半沖にて小舟をしけ中三人取来り琉球国へ着岸に太賣船に別
ると時ハフ国に渉り居る寅太郎にも其事に陽国なりしゆゑ内人何卒
陽国渡す事無き様文通然へ

一 寅太郎つと倶に陽国之筈に相何しくも陽国ハ難義との存念にてハフ国に留ると
いふ

一 万次郎亜墨利加に何ゆゑし時フイツヘル殊に罷免し学問ともよく為致ゆゑ
万次郎義フイツヘルより妻とも無き女甚不便に存ぬ切なり
たりハフ国出帆之前に陽くと文徳無報にしたゝに意此情ハつこぬ様なり

一 ハフ国に携へ来ふ所々にて琉球国にして黄ひし所々等小出持三ツ世界地
割鏡世界之図七枚（四枚ハ出帆ゆゑ以上にけゝ成）亜美理加にて極ゆる金英書物数十巻日記
アメリカにて之書籍数百地理所々所々浜炮三挺衣類太之内より万次郎所渡

之和蘭国衣類所々世界之図三枚陽釜之類アヘン煙草少々コンハツ此外略也

一 ハフ国亜美理加国は味噌醤油の類なし塩ゆゑ味を附るなり

一 琉球に薩摩之九作紀ゆゑ薩摩に乗りて月代様なし日本の姿と成

一 長崎ゆゑ揚り居人となる揚屋とゆせた寛なる事にて目を浄陽陽かなり此類来る
此時に次第々々に日本之語を覚ひ申候なり

一 亜米利加出日本詩奇之類にて其中に唱奇を謡ふ文義和解すれバ
むかふ此山坂より来しと等ふ人なり　同ふハ涙とくとくて

一 ハフ国に日本人持渡ふ大刀にて是我持て貢を切るよし申侍へ武勇之国なりと
称するよし物なり

一 五人之者に見せたる米利寛和通宝ハ大坂之人以前流出持渡るよし物なり

一 此度も紀州之人ハフ国へ流出ゆゑ伊浦人よりしかしまく陽国にて長崎来行より
此渡しゆゑ様にしなるなり

一 以前浦賀に来ふ大舟ハ今々軍船にも行ひ測量なれども十万船ハ子細ハ日本之
地測量之前なりし鯨舟杯漂流之前薪水之恩をはん事を報ゆゑ容易に
不成時ハ人質とも無き一事ゆゑ入れ筈に日本人渡ふ所洛さゆゑ様にしなし

国立国会図書館　タイトル『土佐漂流人口書』 請求記号 862-1
ガラス使用

とて行きまた居りいふし

一 一昨日本人ハ延来なるこのといふて彼国ハ寛仁なるのミ知らず唯今罷き中国から中ミ他邦を伺ひ居る巧ミ抔決してなし

一 彼國をイキリス人かし持居交易の地とし

一 アメリカ国王ミ居所ハ平地区浦ニ大名ニ類し大城を構ひたるハ條多なり

一 彼王府ミ之大物ニ境をもふて数百里ミ間ニ境ニ至つて常をかんるこのやし

一 一度王ある人隠居すまたハ隠居科ハ行て安歩れ

一 官人ハ従来権威をもつ事なるなし

一 人品ハ上下衣服ハ其を分別し　百姓ありた学問ハ次第ニ羣用ひらる学問ハ書き人官人ハ非ずとも上品ニ衣服を許さる

一 アメリカ舟中へ色々の居りを入る舟何百里来るしといふ事を知る思ひ

一 万次郎携へ来る居りを取りハ居りの数多し是舟中法居りを我ハ出りのなり

一 居宅ハ忌いと絵ハ障子を入るかしこ愛あいらしやを用るなり

一 らしき我滅ふかハ車ハ仕様メン羊ミ毛ハ刺り更ハ糸ふ引かせるふ車仕様の何居つりて人力を費さず

一 万次郎アメリカ来てハチヨンマンといふ夫人ミヘシクチヨンマントメヘンタハ日本ミ敵といふがなし

一 蘭ふ先生といふ事をメリケトメルといふ

一 クロンボウ耳鼻腕ニ環ハ入る

一 傳義文字ハフ國ハて日本ミ名ハ改多あるに御事とも傳義元ミ名ハ筆ミ悪といふ彼国人筆ミ悪といふ事ハいうふいへとも御いまだなく傳義と改む

一 ハフ國ミ人アメリカハ称しミメリケンヤといふ

一 諸道具陽飯つ事杉子ハ多事ニさの實ハ拔ふるやきものを用ゆ

土佐漂流人口書終

国立国会図書館　タイトル『土佐漂流人口書』 請求記号 862-1
ガラス使用

漂客奇談

第一談

往年異域ヘ漂流イタシ候土佐國吾川郡宇佐浦漁人傳藏同人弟五右衛門幡多郡中之濱萬次郎此度帰國イタシ御吟味濟ニ相成面談之砌咄シノ趣書記シ候次第左ノ如シ

一私共三人天保十二丑年正月五日傳藏弟重助同所寅右衛門五人申合。カリラ。舟五丈ノ漁船ニ白米一斗餘用意仕リ其日四時過宇佐浦出帆シテ十四五里下之方興津ノ沖。ドン、。ト申処江ハヘ縄ヲ下シ候処獲物無之又下ノ方八十之岬ト申処江碇ヲ下シ其夜ヲ明シ翌六日佐賀ノ沖ニテ漁事仕候得共亦獲物無之井田ノ白濱ト申処江乗寄セ其夜ヲ明シ七日ノ曉方ニハ足摺山ノ岬十四五里斗沖江乗出漁事イタシ候処申酉ノ風吹起リ候ニ付地方江五里斗乗寄折節小鯛鰭抔ノ群ルヲ見付ハヘ縄六桶ハヘ尽シ手過ニ至リ候時俄ニ雲行燈ノ如ク。アナセ。ト申風吹起リ候ニ付三筋迄ハヘ揚ケ残リ三筋ハ切捨岬ノ方ヘ乗寄セント仕候処風モマタ起リ如何共相成不申手ニ手ニ櫓ヲ取力ヲ尽シ漕候ヘ𪜈ハカトリ難ク頭舟ハ既ニ汐曇ニ隔リ見ヘ不申風ハ弥烈ク波荒ク遂ニ日モ暮レ兎ヤ角仕候中夜半ニモ相成疲レ甚クヲモ櫓モ附角ト申物モ折レ元ヨリ暗キ波濤ノ中ヲ

国立国会図書館　タイトル『土佐漂流人口書』　請求記号 862-1
ガラス使用

辰巳ノ方へ流レ行申候寒気ハ身ヲ透シ一同凍居夫々只佛神ヲ祈念仕候而已ニテ傳藏一人楫ヲ取罷在朝ニ相成候処舩ニイタシ無之風ハ尚々甚ノ註方十リ大小ノ帆柱ヲ明床（胴カ）（横ニ結ニ付クツカヘラヌ用心仕風ニ任セ流レ行候処ニ地方ノ山ハ見ヘ候ヘ共兼寄候義難叶遂ニ山モ見失ヒ九日ハ雨降出シ寒気強皆ヲ凍ハ雨ヲ受ケ飲居申候身ヲ投死ナント存候ヘ共又思返シ生ルタケハ生ヘシ杯ト申日ヲ送リ申候程十リ夏ノ気候ニ相成候分彼藤九郎鳥モ次第ニ少ク相ナリ殘ヨリ上ヘハ上リ飛ニ立候間立右エ門萬次郎ハ見付候間寅右エ門立右エ門モ立出見ヤリ候処大ナル異国舩ニテ次第ニ近寄候間面々声ヲ揚破損ノ舩具ニ衣類ヲ絞リ付差招キ漂流人ノ躰ヲ見セ候処彼舩ヨリモ小舩ニ載艘ヲロシ嶌ニ向ニ漕来リ筆ヲ以招キナントイタシ候ニ付大ニ悦ニ是ヨリ手ニテ差招キ近リ相成候処荒殘ニテ舩ヲ着難ク衣類ヲ頭ヘ巻付ケ来レトノ様ノ手真似イタシ候ヘ共見馴レサル人故ニ気味アシク存候ヘトモイツ迄モ居ルヘキ嶌ナラヌ故彼人ノ手真似ノ通ニイタシ舩ニ游キ着候処彼人又外ニ連ハ無之哉ト申様ノ手真似イタシ候間洞穴ノ方ヲ指サシ

辰巳ノ方へ流レ行申候寒気ハ身ヲ透シ一同凍居夫々只佛神ヲ祈念仕候而已ニテ傳藏一人楫ヲ取罷在朝ニ相成候処舩ニイタシ無之候へ共穆モ流レテ一艇モ無之風ハ尚々甚ノ註方十リ大小ノ帆柱ヲ明床（胴カ）（横ニ結ニ付クツカヘラヌ用心仕風ニ任セ流レ行候処ニ地方ノ山ハ見ヘ候ヘ共兼寄候義難叶遂ニ山モ見失ヒ九日ハ雨降出シ寒気強皆ヲ凍ハ雨ヲ受ケ飲居申候身ヲ投死ナント存候ヘ共又思返シ生ルタケハ生ヘシ杯ト申日ヲ送リ申候程十リ夏ノ気候ニ相成候分彼藤九郎鳥モ次第ニ少ク相ナリ殘ヨリ上ヘハ上リ飛ニ立候間立右エ門萬次郎ハ見付候間寅右エ門立右エ門モ立出見ヤリ候処大ナル異国舩ニテ次第ニ近寄候間面々声ヲ揚破損ノ舩具ニ衣類ヲ絞リ付差招キ漂流人ノ躰ヲ見セ候処彼舩ヨリモ小舩ニ載艘ヲロシ嶌ニ向ニ漕来リ筆ヲ以招キナントイタシ候ニ付大ニ悦ニ是ヨリ手ニテ差招キ近リ相成候処荒殘ニテ舩ヲ着難ク衣類ヲ頭ヘ巻付ケ来レトノ様ノ手真似イタシ候ヘ共見馴レサル人故ニ気味アシク存候ヘトモイツ迄モ居ルヘキ嶌ナラヌ故彼人ノ手真似ノ通ニイタシ舩ニ游キ着候処彼人又外ニ連ハ無之哉ト申様ノ手真似イタシ候間洞穴ノ方ヲ指サシ

国立国会図書館　タイトル『土佐漂流人口書』　請求記号 862-1
ガラス使用

戴人残居候段手真似イタシ候（ハ真黒キ人ヲ乗セ洞穴ノ方（漕出申候
此時傳藏ハ洞ノ中ニテ重助ノ看病致シ罷在候処洞ノ口（鍋ノ尻（目鼻ヲ
附候様ノ者来リ何トカ申ニ傳藏ヲ引出サントイタシ候ニ付恐リ存振放シ候
色白キ異人来リ外ニ人モ船ニ参リ居候様ノ手真似イタシ候間夫ニ随ヒ
彼船（乗申候重助ハ彼色黒キ人ニ抱シ船ニ乗申候則ニ艘共彼大船ニ漕キ付
上リ候処長三十間幅六間計ノ帆柱三本建有之船ニテ異人十人計乗居申ソロ
殊ノ外丁寧ナル取扱ニテ薬并筒袖ノ黒キ着物一枚ツヽ貰ヒ受色々双抱ニ預リ
其上彼人喝ニ取残シ置メルモノハ無之哉ト云様ノ手真似致シ候間衣類残シ
置タル手真似仕候処又小船ヲ卸シ黒キ人乗リ嶋ニ漕付着物取入候シ申候
三日程日ヲ経候迫ハ焼芋豚ノ干肉等少々貰ヒ給（申候空腹故彼ニ大食イタシ
候得ハ即死イタシ候ヒノ右之候ニ付ヶ様ニ致シ候由後ニ乗リ候（ハ初ノ小船ヲ
喝ニ漕寄来シ元ヨリ漂流人有之トハ不知残魚漢事ニ参リ候処人彰見受候ニ付
相助ヶ候ニ御座候

一此船ハ亜墨利加マツーツ。ト申國ノ鯨船ニテ船主ノ名ヲ。フイテセル。ト申候是ヨリシテ
所々鯨漁仕候処大鯨十五本ヲ獲其油ヲ取肉ハ海中（捨申候十一月末ノ比。ハナロ。ド
云湊ニ着帆仕候此湊萬國入津ノ湊ニテ北亜墨理駕ヨリ参リ居候奉行躰ノ人
ダフタ。リヨーチ。ト申人ニテ御生候。ノイテセル。ヨリ此人ニ申入傳藏并四人ヲ上陸為致
地圖一枚持参リ委カシコト頻ニ尋候（ニ付五人十カラ其地圖不案内ニテ一向相分リ不申
神仏（手ヲ合セ拝ミ候ヤト云様ナル手真似イタシ候間其通リニ致シ候処又日本
ノ壹朱銀ニ拾二朱銀（金）一片銭一文和製ノキセル一本取寄セ見セ候間是ハ皆我等共
國元ノ物ニ候旨手真似ヲ以答（候処必定日本人ト承知イタシ候様子ニ御坐候
此品々ハ十四五年以前大坂ノ商ヒ船ニテ此処（漂流イタシ候事有之其時
持参リ候由後承リ申候趣萬次郎帰国ノ節ハ。フイテセル。所望ニテ本國江連行
度段相願ニ申候処奉行ノ申聞候ニハ万次郎心次第ニ任セ可申旨彼申候ニ付
連行随分労リ可申（候間聊気遣ヒ申間敷旨四人ノ者（申置萬次郎ヲ彼
鯨船ニ乗セ出帆イタシ候此時ニハ萬次郎十四歳ニ御坐候

一四人（重助（若門）儀ハリヨー千。（下役躰ノ人也）ニ被頼段々世話ニ相成候（ハ元言語ヲ通シ不申
空敷光陰ヲ送リ罷在候処翌寅年夏ノ比ヨリ追々言語ヲ通シ諸品ノ名前ヲ
畧相覚（候間永々世話ニ相成候ヒヲ存相応ノ働方致度段申立
候処奉行ヨリ預リ人ノ事故其儀ニハ及ヒ不申無心配相暮候様懇ニ被申聞
候処無程又一ヶ年餘リヒ過候間何分相應ノ働方致度旨達而申出且
リヨー千。方（罷越シ右之段申述候処然ラハ當分ノ内我等家来分ニ可致

国立国会図書館　タイトル『土佐漂流人口書』　請求記号 862-1
ガラス使用

トテ薪ヲ割水ヲ汲掃除等イタシ弁當ヲ持様ノ事ヲ被申付罷在候

一傳藏事ハ日本ニテ筆之煞ト申名ニ候処此処ノ人呼申候ヲ聞候ニイツトテモデンゾ。或ハデンソウ。ト申様ニ聞ヘ候ニ付則傳藏ト改名仕候

一寅右衛門ハ大工ノ方ヘ被雇追々弟子ニ相成申候

一重助儀ハ病気ニ付。リヨーチ。世話ヲ以湊ヨリ三里計有之候。ユウロ。ト云処ヘ参リ百姓。テウハニ。ト申人ノ方ヲ宿ニ仕リ醫師ヲ迎ヒ養生仕候ヘ圧其験モナク痢病ノ様ニ相成未ノ正月終ニ病死仕候近辺ノ人々色々世話ニ預リ。モシハンカト申ス僧躰ノ人ニ葬式ノ事ヲ頼候処經文様ノ物ヲ讀卧棺ニ入レ。カンチヲユト申処ヘ葬リ申候此地ノ風俗精進抔申事是ナク心得ヲ以精進仕墓参等仕候

一夫ヨリ兄弟二人（傳藏事ヘ）ツワナ。ト申人ノ世話ニ預リ罷在候処。キンカケヲリ。ト申嶌主。ハナロ。ノ湊ヨリ巡見トシテ此処ヘ被参右。ツワナ。ノ家ニ止宿セラレ兄弟御前江召出サレ暮方ノ戔念比ニ尋ラレ候間コシカタノ通リ申上何卒少々耕作仕作間ニハ漁事等モ致度旨申候処聞届ニ相成。ツワナ。江何カ差圖致シ被帰候其後。ツワナ。ヨリ田地配分ニ預リ候間兄弟申合濱邊ノ明地ヘ一軒ノ家ヲ建耕作漁事等仕候釣道具ハ宇佐浦ニテ釣リ候通ニ拵ヒ松魚ヲヨタク釣獲申候此地ノ人十ヲ釣リ候間ニハ四五十釣申候作物ハ皆芋ノ類ニ御座候

一私共ニ限リ年貢ノ掛リ無之且村役人躰ノ処ニテ人別改有之其節十五歳以上ノ者ハ銀銭一枚ツヽ役人江差出候御法ニ候得共是等ノ戔ニハ更ニ不及候釣候魚ハ四ツ辻ノ魚市有之処ヘ持出シ賣申候右様ノ事イタシ光陰ヲ送リ罷在候或日五右衛門戔彼ジンハレカ。方江雇レ参リ候処。シヨレン。ト申テ法談ノ様ナル事有之其群集ノ中ニテ五右エ門ト呼ヒ其方ハ此方ヲ見忘レタルヤト申サレ候間。フイチセル。ニテ（此フイチセルスハ助ケラレシ舟ナリ）御座候間イカテカ見忘レ可申哉命ノ親ニテ候モノト最前ノ礼謝抔厚ク申述重助病気久々煩ヒ候処養生不相叶病死ノ趣語リ候処殊ノ外愁傷ノ躰ニテ我等水主イタシ候ギヤンフンカコシ。ト申者此度鯨舩ヲ仕立日本近海ヘ送リ可申心得ニ候処早一人ハナキ人ト成タルカサコソ物悲シク故郷恋ク思ラメ重助ヿハ詮方ナシ萬次郎ハ我等ノ故國ニ罷在廉末ナル扱ニテモ無之無恙候間気遣ヒ申間敷両三人（傳藏ハ寅右ヱ云）申合急キ帰國ノ用意イタスヘシ萬次郎事ハ先ツ我等方ニ止リ候由申間必案事申間敷故郷江帰國イタシ候ハヽ万次郎親人方江無恙旨能々申傳ヘ玉フヘシ楮ギヤンフカヨン（此度漁事ナルヒト）ヘハ能々様子頼ミ遣スヘシト貌ニ申彼濱辺ノ住居江同道シテ参リ家居見分シテ眉ヲ感（シワ）メナカラ内ヲサシノソキ候処傳藏内ニ居合桶ヲ腰掛ニ持出ケレハ腰ヲカケナカラ楮々風流ナルワヒスマヒ哉ト打笑ヒ是迄ノ暮方ヲ傳藏ニ相尋五右衛門ニ申候通申述明日湊江参ルヘシトテ銀二枚出シ呉立申候

国立国会図書館　タイトル『土佐漂流人口書』　請求記号 862-1
ガラス使用

右衛門湊口江参リ候処。フイチセス。早速出迎ヒ其躰ニテハ帰ルヘカラズ是ナリ正着テ
参レトテ羅紗ノ衣類ヲ初メ色々ノ物貰ヒ荷擔帰リ可申旨兄弟諸共大ニ悦ヒ
パナロ。ノ湊江参リ寅右衛門江對面イタシ帰朝ノ約速仕心安キ人ニ暇乞イタシ互ニ涙
ヲ催シ相別レ彼。リヨーチ。ヨリハ色々餞別ヲ貰ヒ受上舩仕候。チセル。ヨリ。キヤンカコーシ。
ヘ兄弟ノ一厚ク相頼相別レ上舩為致候処如何イタシ候ヤ俄ニ心変リ致シ今少シ此処ニ
居度由且舩中ニ腹アシキ人有之候トテ又上陸イタシ此舩ハ去ル國江乗附ケ乱妨シ
タル由後ニ兼リ申候無程。キヤンフカコーシ。出帆仕日下ノ直下諸嶌邊ヨリ
初鯨漁シ翌年三月比八丈嶌近辺江参リ候処風悪リ着岸イタシ兼候間
東江乗リテ本國同道ニ至リ。キヤンフカーコシ申候ハ此ハ日本ノ支配地松前ノ続ニテ
蝦夷地ト申処也是ヨリ上リ玉フベシトテ北受ノ磯ヘ舩ヲ附申初ハ篝火ヲ焚
キ磯辺ヲ守ル躰ニ見ヘ候ヘ正舩着候ヘハ壹人モ見得不申。キヤンフンカーコシ。
兄弟ヲ伴ヒ上陸仕爰カシコ小家弐軒見當候得共人々ハ居リ不申詮方ナク
是ヨリ只二人揚リ可申旨申聞候ヘ正。キヤンフンカコーシ。兼知不仕人モナキ処江揚
置候儀本意ニ非ス又々能キ便モ可有之一先舩ニ乗ルヘシト申ニ付其意ニ従ヒ又
上舩仕東ヘ乗リ出シ所々鯨獵仕日ノ光ヲ見不申事四十日計ニシテ南乗出十
月比。ウハホニ揚リ申候処殊ノ外。キヤンフンコーシ。気ノ毒ニ思ヒ候様子ニテ又ヨキ

便リ有之節送リ申ヘシトテ相別レ兄弟上陸仕候如以前耕作仕罷在候
一 楮萬次郎儀ハ亜墨利加。デヘス。ト申人ニ雇レ鯨舩ニ乗リ。ウワホ。ノ湊ニ着
帆イタシ未兄弟ノモノ上陸不仕以前ニ小舩ニテヨ尋参リ人振リニテ對面仕コノ
度ノ一杯噺申候無程。テヘス出帆ニ付直ニ相別レ扨又彼。リヨウテイ江。委細ノ義
申述又々モ世話ヲ以。ハナロ。ノ湊ヨリ五里計隔候。ウリヽ。ト申処江参リ兄弟諸
トモ百姓日雇仕罷在候処。ハナロ。ノ湊ヨリ萬次郎傳言ヲ以呼ニ参リ候ニ付早
速罷越候処帰朝ノ志有之趣ニテ寅右衛門ヘモ右之趣申通シ四人集リ示談仕
候処万次郎一ハ亜墨利加ニテ地理測量ノ法ヲ相習ヒ鯨舩ニテ萬國ヲ航
海致シ候趣ニテ帰國便舩ノ義安キ一ニ候間安心イタシ此度約諾仕置申候
一 初万次郎支漂着ノ時此ハナロノ湊ヘ着爰ニテ傳藏外三人ノ者ニワカレ
。フイチセルニ従ヒ南江乗出シ。キンシメクロ。ト申嶌ヘ乗附漁事仕弓ヲ舩中
ヘ買入申候此嶌ヲ裸嶌。此ト申嶌山ニテ平地ニ帆柱ノ様ニ見ヘ申候ハ皆椰子木ニテ
嶌人其實ヲ常食ニ仕候赤道ヘ近キ故暑気甚シク五穀ハ申ニ不及水モ無之椰
子実ノ中ニ有之汁ヲ吸候由衣類ハ無之男ハ裸ニテ女ハ椰子ノ葉ヲ以纔ニ前ヲ
掩ヒ居申候若シウツムキ候時ハ後ノ躰難申候家ハ椰子木ノ木ヲ以四ツ足ノ
小家ヲ作リ罷在候又椰子ノ木ヲ割足ノ入候程ヲウカチテ是ヲ弓ヲ以

国立国会図書館　タイトル『土佐漂流人口書』 請求記号 862-1
ガラス使用

漁事仕候萬國舩往来ヲ見受候得ハ男女海ヲ游キ来リ鴉片煙草ヲ貰ヒ女ヲ
借リ申是ヨリ戌ノ方ヘ走リ翌年寅三月比。キユーエン。ト申処ニ着帆是モ嶋ニテ
人物ハ亜細亜ノ人ニ異リ不申候目モ髪モ黒リ物笑ニ仕候衣類家作ハ。伊斯波尓亜風
ニ御座候。イスハニヤ。ヨリ奉行ヲ置有之日本之西南十六百里計之処十二三度ノ所ニテ
御座候爰ニテ三十日計滞留薪水ヲモ入戌亥ノ方江乗出シ東江轉シ日本ノ沖百
里計ノ所ヲ東江鯨漁シ四十度位ノ処ヲ南江乗。ウワホ。ノ島ニ参候処丑ノ方ヨリ
吹風ニ落サレ南江乗リ。十ハケイトー。之内。ユシヲ。ト申嶋ニ着帆仕候此嶋廻リ
戴十里四方計三十七八度位ニ當リ申候入江ノ湊有之人物亜細亜ニ異リ不申家ハ
多ク萱葺ニテ衣類彼是。イキンリス。風ニテ。イキリス。ヨリ奉行ヲ置有之候此
所ニ三十日計滞留薪水ヲ調ヘ辰巳ノ方江乗出シ南アメリカ火地ノ岬ヲ廻リ戌亥ヨリ
翌年卯四月比北亜墨利加。コセツセーツ國。ヌーヘツホー。ト申湊ニ着帆仕候此
所。フイチセル故郷ニテ御座候今度ノ留主中ニ妻病死イタシ其侭住居致シ
難ク兄弟對面ノ為。ヌヨヲカ。ト云都ヘ罷越候トテ私ヲ舩大工。アレン。ト申
人ノ娘ニテ。チヱン。ト云女ノ師匠女ニテ測量并手跡ニ入門致サセ呉候間頼置罷
出候爰ニテ横文字遣様相習ヒ申事凡四十日計其内ニ。フイチセル。後妻
ヲ娶リ連帰リ候湊口ヨリ五里許隔リ候。シカント子ツキ。ト申処ニテ田畑ヲ

買求メ引移リ候間附添参リ開発ノ手傳仕罷在候処同年十月比。ハアツレ。ト申人此処
ニテ算術萬國地理測量ノ方道等相初メ候ニ付。フイチセル。世話ヲ以入門仕翌年四月
右修行仕候同年七月比。フイチセル。又鯨漁ニ罷出申候此度ハ。チヨンマン。ト申ハ萬次
郎事ニテ。フイチセル。ヨリ付候名ニ御座候留守ヲ頼ミ置ヘシトテ留守番ヲ被
申付。フイチセル妻モ其姉モ其妻ノ娘モ共ニ四人家内同様ニ相暮シ罷在候同十月ヨリ。アル
ハア。ト申人前件同様導方相初メ候ニ付又入門仕翌巳年四月迄修行仕候扨。フイチセル。
罷帰候間。ヌイヘツホウヘ参リ。ハセト。申樽屋ノ弟子ニ相成居申候処病気差起リ
候ニ付又。シカント子ツキ。ノフイチセル。宅ヘ立戻リ手跡相習ヒ罷在候翌年又右。ハセノ
方江罷越候其年六月。デヘス。ト申人ニ雇レ鯨舩ニ乗リ同所出帆仕候舩中并測量ニ
達シ候者ハ私共五人有之始終棹ヲ取申候東江乗出シ。ウユシト。アイラン。ト申嶋
ニ乗付薪水ヲ調ヒ。カナリヤ。沖ヲ通リ南ヘ乗抜喜望峯ヲ廻リ。アンシタン。ト
申嶋ニテ亀ヲ捕丑ノ方江乗リ新和蘭陀ノ北ヲ通リ。ジヤカタラ。ノ瀬戸ヲ起シ
。ダイモヲノ内。コウヒヤン。ト云嶋ニ着帆此嶋高山ニテ此島ノ人所謂黒坊ニ御坐候
爰ニテ三十日計滞留薪水ヲ調ヒ戌亥ノ方ヘ乗出シ東ヘ轉シ。新コヲイ子ヤ。
北海ヲ鯨漁シ申候此処ノ嶋人黒坊ニテ顔ニ粉色イタシ髪ヲ白クスリ男女分リ
難ク恐シキ恣ニテ御坐候是ヲ人喰嶋ト唱ヒ候木ノ用ヒ様存不申候間宜シキ

国立国会図書館　タイトル『土佐漂流人口書』　請求記号 862-1
ガラス使用

材木多ク御坐候未年二月又。キユーヱンニ着ク三日計滞留薪水ヲ調ヘ戌亥江乗
出シ亥ノ方琉球(着)近リ船主地方ノ人ニ豚二疋貰ヒ受返禮トシテ木綿二反遣シ閑帆
是ヨリ鯨漁シ日本ノ東ノ方八十里計沖ニテ日本ノ釣舟ヲ見受候間小舟ニ取乗リ乗組
ノ者共声ヲカケ私ハ日本様ノ鉢巻ヲ仕言葉ヲカケ申候(正)通シ不申候土佐ハ辰巳ノ方ヘ指シ
申候何方ノ船ゾト申候間何方江當リ候ヤト尋候処。センタヘ。ト申候是ヨリ東北ヘ乗出シ
南ヘ轉シ十月初メ。ウワホー。ヘ着帆仕候間兼リ候ヘハ此度入津ノ船ニ日本人二人乗リ罷在候
趣ニ付早速小船ニ乗リ其船ニ参リ候処傳藏五右衛門罷在人振リニテ對面仕候重助病死仕候
ニ付此度兄弟二人帰朝トシテ便船仕候処云々事ニテ(此云々ト申ハ前書ニ申ヿ)本意ヲ遂不申候帰朝ト相成
又々此湊ヘ帰リ候由即日。テベス開帆ニ付匆々ニテ相別レ。ハタカ嶌近辺ヲ鯨漁シ戌亥ヘ乗翌申
年二月比又。キユーヱン。ニ着ク十日計滞船薪水ヲモリ入申候。デベス。美風ト狂気仕軍装束致シ
人ニ組付女ヲ犯ス真似イタシ本心ニ無之ニ付急キ呂宋ヘ参リ。アメリカ。ヨリ置有之役所江訴
出置申候此所大湊ニテ繁花ノ地ニ御坐候所ノ名ヲ。セチラ。ト申候西洋東洋着用フ笠ヲ
多ク爰ニテ出来申候人物ハ。アシア。種ノ清國ノ人多ク罷在候英咭利軍船商賣船夥シク
入津仕居申候七八月比此処出帆又日本ノ沖鯨漁シ南江乗又。キユーヱン。ニ着ク霜月ユロ
出帆南江乗リ翌酉年二月比。セラン。ト申所江着此所ハ。イスハニヤ支配ニテ風俗其国ノ
通リニテ爰ニテ薪水ヲ調ヒ未申ノ方ヘ乗出シ南ヘ轉シ喜峯ヲ廻リ戌亥ヘ向ヒ

ヌセツセーツ。ニ帰帆仕候實ハ此度折能御座候ハヽ帰朝仕候心得ニ御座候処又。アメリカヘ
帰リ候間折ニフレ故郷ヘ帰リ度十ツカシク存シ自(ヲノツカ)ラ云葉ノハシニモ出候婦人抔ハ日本ヘ
帰レハ御作法ニテ首ヲ咽カラ後ロヘ切ラレルト云リカヽル恐シキ国ナリ帰ルヘカラスト
申候ナニ此国(ヲノ)ニテ日本ノ作法ヲ知ルモノカ有ルヘキヤ抔トタワムレ荅ヘ申候或日金山
ヘ参リ候商ヒ船有之趣兼リ候間便ヲ乞上船仕候処直ニ出帆ニテ。キヤリハヤ。ノ
洋ヲ通リ。南亜墨利加ノ岬ヲ廻リ候処地方ノ人ハ身丈八尺程女ハ七尺余大人國ト唱ヘ
候由翌戌ノ四月。南アメリカノ内。タユアナ。ノ湊江着帆仕此処。イスハニヤ支配ニテ風俗
イスハニヤノ通ニ御座候随分繁花ニテ八日計滞留仕候薪水ヲ取入開帆仕候六月
比。北亜墨利加ノ内。サンランセンコ。ト申処ニ着ク此処入海ノ大湊ニテ高山モ有之コヽニテ
一同申合蒸氣船ヲ借リ申候其徃来ノ賃銀五十枚一夜ニ入海ヲ百五十里計逆リ
ゼクリマシ。ト申処ニツク是ヨリ上陸仕馬ヲ借リ諸道具ヲ駄セ山ニ登ルヿ百里ハカリ
道中旅籠賃甚高直ニテ豚肉葱ヲ食スルノミニテ一夜ノ泊リ賃銀日本ノ一両程ニ相成候
銀ヲ遣シ候山上ニ大川三ツ有之南川北川ト御座候北川ニテ金銀ヲ堀リ申候三
尺ヨリ一丈計堀候ヘハ金銀吹分ケタル様ニ相成御座候此山至テ高キ事ニ御座
候巓ニ常ニ雪有之候(正)雄黄ノセイカ山ニテ湧返リ候趣夫故金ヲ堀候
処ハ甚暖カナルヿニ御座候萬國ノ人寄合ノ処至テ繁昌ノ地ニテ博奕甚盛ニ

国立国会図書館　タイトル『土佐漂流人口書』　請求記号 862-1
ガラス使用

御座候大ニ打勝候者ハ油断イタシ候ヘハ懐鉄炮ニ打殺サレ候ヿモ有之ヨシ此山中
ニテ虎ヲ見申候七十日計滞留金銀相應ニ堀リ元ノ如ク。ピクマンド申ヨリ上
船仕候。サンフランセシマ此金山今年ヨリ五年以前。北亜墨利加ト。メキシコ界リ
論有之遂ニ合戦ニ及候其節水車ヲ仕掛タル波川下ヲ堀候ニ付沙金ヲ夥ク
見出候ニ付合戦相済テ後觸書ヲ出シ勝手ニ堀取ヘキ旨申渡是ヨリ只
今ノ金山ニ相成西洋東洋爰ニ往来致サス國ハ無之清國ノ人多ク便船ヲ以往来仕日本
ヨリモ萬次郎参リ申候楮本船ニ乗移リ十月比発帆同月末ニ。ウワホー。ノ
パ十口。ニ着ク従是弥帰朝ノ志治定仕上陸仕寅右衛門方江尋参候処大工ノ手傳イタシ
罷在候相應ノ暮方ニテ馴染ノ人モ多ク御座候趣五右衛門傳藏ハ此処ニ居不申
候五里計隔リ候処ノ。ウリヽ。ト申処ニ百姓働イタシ居候趣ニ付人ヲ雇ヒ呼ニ遣シ候
処早速罷越候処四人ニテ帰朝約諾仕候此萬次郎湊ロニテ。アメリカ船入津有之日本
人數人乗合來候趣兼候ニ付急キ参リ對面仕候得ハ雙方言語通シ申サス傳藏
五右衛門江對面致度旨申候ニ付此段傳藏江申通シ候処則對面仕能々相分リ申候此人
紀伊國日高ノ蜜柑船ニテ天壽丸船頭寅吉ト申者ニテ十三人乗合江戸出帆致シ候
処風波ニ漂ヒ此船ニ被助候由右十三人ノ内八人ハ。ヲロシヤ。ヒタホラシケ。只五人相通居候此五人
江モ共ニ帰朝ノ約諾仕リ其期ニ至リ候処寅右衛門心ヲ変シ今暫シ此処ニ留リ申度

段申候ニ付様々申諭シ候ヘ𪜈先年傳藏五右衛門両人カ日本近ク迄被送参リ候ヘトモ
空ク帰リ候事ニコリ候テヤ一圓兼知仕ラス候間不得止残シ置万次郎等。アメリカ。
鯨船ニ便ヲ乞紀州ノ五人共ニ都合九人上船乗合仕候ノ処萬次郎傳藏五右衛門ハ急ニ心残
リノ事出来候ニ付紀州ノ人五人ハ何卒日本江此船ニテ送リクレ候様ニ船主ヘ頼ミ置三人ハ
上陸仕候是ヨリ傳藏ハ。ハ十口。ノ湊ニテ日本人善助ト申者ニ参會仕候此人摂州兵庫
船ニテ漂着仕佛蘭西船ノ以抱ニ豫リ此度其便船ヲ以帰朝ノ由ニシテ萠黄羅紗ノ衣
類ニ。カクト申貴人ノ腹章ヲ附金ノ紋付タル笠ヲ冠リ罷在候共ニ帰宅仕度由。ウワ
ホー。役人江相願船中江書状ヲ以申入呉候処船中ヨリ役人江返書ニ此善助ト申者國許
役人ヨリ被申付送リ返シ候ヘ𪜈外ニ日本人乗為組候義難出来候トノ事故善助モ
気ノ毒ナカラ空シク相別レ申候楮此善助ハ今既ニ帰朝仕紀州様御抱ニ相成候趣右
寅吉ヨリ兼リ申候楮又三人上陸仕間モナク又北アメリカ。メアンド申処ノ船主。フイツ
モアハト申人入津仕此度貿易トシテ清国ヘ渡海ノ趣ニ付萬次郎早速罷越便船ヲ頼入
候処兼引致シ候ニ付萬次郎。アメリカヨリ持参ノ金子ヲ以小船一艘買入レ日本近辺ニ参
リ候ソヽ此船ニテ漕寄可申筈ニ仕手道具積入三人上船仕無程出帆酉ノ方ヘ乗出シ翌
年亥正月琉球ノ沖三里計ノ処ヘ到着則彼小船ヲ卸シ三人共乗移リ地方江漕寄
申候大坂湊ニテ見申候輿地圖ニテ案内ノ事ニ候間是ヨリ直ニ乗リ付候心得ニ御

国立国会図書館　タイトル『土佐漂流人口書』　請求記号 862-1
ガラス使用

座候初萬次郎。ウワホー。出帆ノ節幸便ヲ以。アメリカ。フイチセル方江書状差遣シ長々
世話ニ相成候段禮謝申述残シ置タル手道具等ハ友達方江分ケ遣シ呉候様相頼ミ。フイセ
ル娘江モ名残フミ差送リ申候此所ニテモ又書状一通相認。フイチセルヘ相頼ミ。ウワホー。ニ罷在
ザシセウエル。ト申。アメリカ人江遣シ候テ三人程ナク琉球迄到着程ナク故郷ヘ被帰可申旨
存候間寅右衛門江此段申聞セ何卒便船ヲ以帰朝ノ義勧メクレ候様相頼置遣申候。フイ
ツモアワ。モ涙ヲ催シ相別レ扨三人共上陸ノ躰ヲ見届ケ戌亥ノ方ヘ開帆仕候同三日琉球国摩天
仁切ト申処ニテ取調有之段々丁寧ノ扱ニテ薩刕様御役人中モ御立合有之御吟味有
之猶又御丁寧ノ御取扱ニテ罷在候内泡盛酒一升蚊帳一釣和製袷単物帯下帯迄下シ賜リ
同七月乗船同処出帆同下旬薩刕山川湊着岸翌日庶児嶌御城下江被召連御屋舗申処
江被置御士御役人平御役人御足軽等迄御番被為附又羽織綿入袷単物繻伴帷子各一枚宛拝
領被仰付同九月十八日庶児嶌ヨリ上船被仰付同廿九日長崎江着岸十月朔日ヨリ御奉行
所白洲ニテ御吟味有之画踏仕揚屋江被仰付罷在候処今子年六月廿三日御白洲ニ於テ御書付
御讀聞セ有之白銀一枚豆銀一粒綿入一枚手拭下帯并傘一本ツヽ拝領被仰付御作法ノ通
万次郎持参ノ砂金并測量ノ器一ツ横文字書籍十二冊火打仕懸鉄炮一挺懐鉄砲一挺并玉薬
被召上沙金ハ御通用ノ銭ト御引替被仰付且向後神妙ニ仕罷在猥ニ他国ヘ往来御差
留被仰付御国ノ御役人江御渡ニ相成彼地ニ於テ着用仕候衣類笠等持参ニテ御国

風姿ニテ出立諫早通リ下ノ関ヲ経テ七月十一日高知御城下江帰着仕候

第二談

一 烏王府（ウワホー）本地人物亜細亜ニ異リ不申候凡七嶋有之。ウワホー。ナヽイ。ハロイ。モロカイ。
モフイ。アトワイ。モヘロ。ト申候都府ハ。ウワホーノ内。ハナロ。ト申処ニテ近年至極ノ
繁花ノ地ト相成遊女モ有之萬国入津不絶七嶌物高凡銭十二萬枚有之其十二万枚内
本地ノ王。キンカケヲリ。所領ニ丈カ枚半分六万枚ハ亜メリカヨリ参リ居候奉行躰ノ人。タワタ
リヨウフ所領ニ相成申候此人ハ元醫師ヲ以此嶌ニ来リ夛ク人ヲ救ヒ自ラ奉行ノ様ニ相ナリ
本地半分領シ罷在候此度ハ至テ宜キ嶋ニテ航海ノ途中ニテ御座候間。アメリカヘ取候得ハイ
キリス兼知不仕イキリスヘ取候ヘハイスハニヤ兼知不仕誠ニ此国小国ニハ候ヘ比何方ヘモ属ス
ルヿ相成不申故ニ此地ノ船印等ハ三ケ国ノ印ヲ合セ用申候。キニカケヲリ往来ノセ
ツハ數々ノ従者有之先ヲ拂ヒ通リ候行逢ヒ候者皆々笠ヲ取申候其内儀名高キ
美人ニテ錦繍ヲ着シ金銀ノ飾有之候冠リニテ馬上ニ御座候
一 七嶌都テ山ニテ間ニ沙地有之候ヘ比五穀ヲ生セス芋葱ノ類ヲ作リ申候高十万
枚ノ金銀ハ夛ク入津ノ萬国船ヨリ口銀運上ニテ御座候食物衣類多有之。アメリカ
ヨリ貿易イタシ候常食ニ製シ申候。バンド申物ニテ衣類アメリカ風ニテ筒袖ニソ
羅紗類木綿類ヲ以仕立呂宋ヨリ参リ候編タル笠ヲ着シ往来仕候女子ハ髪ヲ

国立国会図書館　タイトル『土佐漂流人口書』　請求記号 862-1
ガラス使用

天人モトヒト申ワケノ様ニ仕罷在候家作モ多クアメリカ風ニテ杉ヤ子葺石屋根ニテ御座候禽獣草木格別日本ニ異リ不申候一種ノ木綿ノ木御座候気候ハ暖和ニテ四時ノ分ケ無之候

一北亜墨利加人物亜細亜ニ異リ色ハ黒キ方ニ御坐候尤イキリス。ヨリヒラキ候国ユヘイキリス種ノ人多ク罷在候此人ハ色白ク目少シ黄ニ御座候気候四時御座候一トモ惣而寒キ方ニ御座候代々ノ国王ト申ハ無之学問ヲ覚ニシテ発明ナルモノヲ衆人撰ミ出シ王ニイタシ候四年ニシテ又他人ニ譲リ申政事ハ能ク行届衆人ノ惜ミ候人四年継ヲ以八ケ年王位ニ罷在候至テ軽キ暮シ方ニテ往来致シ候ニハ馬ニ乗リ従者只一人召連馬ノウシロヨリ参リ申候他人ニ譲リ隠居イタシ候テハ王位ノ内一日ニ金銭千五百両ヲ収納イタシ其儲ヲ以一生安楽ニ暮シ申候役人躰ノ人ニ有之候一共権威ヲ振フナト、申ナハ無御座候何レカ役人ナルカ知レ不申只今ノ王ニハ。テヘラド申候五年前。メキシコ王ト界論有之合戦ニ及ヒ候時討手ノ大将ニテ石炮ヲ以敵陣ヲ打破リ馬ヲ地ニ入レ又人数ヲ敵ノ後ロヘ操廻シ抔シテ大ニ打勝評判甚宜輔遂ニ王ノ譲リヲ被請罷在候。イキリス種ノ人ニテ御座候。イキリスヨリ開キタル国ニ候ヘ正其属国ニハ無之候今子年ハ王ノ代ル年ニ相当リ申候

一禽獣草木ハ日本ニ有之通御座候櫻竹ハ無之作物ハ麦黍ノ類ニテ米ハ無御座候平郊高山大川有之候北アメリカ全洲三ケ一位ノ所ヲ三十一国ニ分有之候共和ノ国トテ日本ヲ七ツ合セ候程ニ御座候ヨシ王都ハ。スヨオカト申所ニテ私罷在候。ミスーベツホウ湊ロヨリ八千里程西南江当リ申候

一常食ハ。パンニテ御座候製シ様ハ麦ノ粉ニ仕豚ノ膏ヲ以練リ鶏卵砂糖ニテ味ヲ附饅頭ノ様ニ蒸シ牛乳ヲ付朝暮ノ昼ト三度食シ申候製シ様ニ上品下品有之味噌醤油皆無之肉類葱類都而塩ニテ味ヲ付油ヲ以上ケタベ申食事ノ時ハ大ナル几ノ様ナル物ヲ置家内一同是ヲカコミ腰懸ケニ腰懸ケ几ノ上ニテ食シ申候米ハ卯度清国南亜墨利加ヨリ交易致シ米間屋有之候ヘ正味淡キモノニテ人ノ力ニハ相成兼申候常食ニハ不仕病人等ハ弱ニイタシタベ候ヿ御座候物好ヲ以給候事モタマ〳〵御座候俵ト申ハ無之麦モ米モ金輪ノ樽詰ニ仕リ丸キ件ニテ量リ申候

一衣類ハ西洋風ニテ羅紗ノルイ仕立申候定メノ色ハ無之色々御座候髪ハツミコホシニテ焼金ヲ以端ヲ焼キキリ〳〵ト舞セ申候是ハ西洋東洋筒袖着用致シ候処ノ作法ニテ御座ソロ由アンヘラ様ノ物ヲ編ミタル品宗ヨリ渡リ候笠ヲ着シ往来仕候女ノ笠ハ色々ウツクシキ飾リ御座候

一家作類モ西洋風ニテ障子類皆ヒイトロヲ以製シ候二階三階四階五階迄有之日本ノ家作ノ如キ屈曲ハ無之中ノ方ニ至リ候テハ必暗キ間有之候譬ハ焼石ヲ以製シ赤白キ色。御座候　是ニテ製シ申候先ツ石炭ノ類ト相見ヘ申候畳ハ無之板ノ上ニ羅紗ヲ敷キ

国立国会図書館　タイトル『土佐漂流人口書』　請求記号 862-1
ガラス使用

腰懸ケニ踞リ申候

一私共罷在候。マセウセツ。ミスーヘツホウハ萬国船輻湊ノ嶌ニテ甚繁花ノ地ニ御座候遊女町見世物等有之候誠ニ賑敷御座候此湊三里計ノ入海ニテ南ノ方ヲ。ヌーヘツホウ。北サアヘーブン。ト申候間十五町計ノ氷ノ上ニ大橋二ツ有之中ニ一ツノ嶌有之嶋ノ北ノ橋長サ五町計此橋ニ一ヶ所カラクリヲ以引橋致シタル処有之大船ノ往来ニ便利ナル様ニ仕候ヘ𪜈橋ヨリ内ヘ入候ハヨタク小船ニテ萬国大船ハ皆橋ノ外ニ懸リ罷在候橋桁ハ真直ニテ反リハ無之脚(アシ)モ石垣ヲ築立有之車馬絶ヘ不申候此湊口ハ炮臺有之大砲ヲ嚴シク仕掛有之石垣ヲ重々ニ築立有之様ニ見ヘ申候此外日本ノ御城ノ様ナル物ハ見及ヒ不申候

一帯刀致シ候人ハ一人モ見不申候尤軍装束ノ𪜈ハ脇差ノ様ナル物ヲ腰ニ絞リ付罷在候鉄砲ハ平生モ盛ニ打申候小筒ハ皆火打仕掛ニテ大筒ハヨタク車ニ仕掛焼玉等ヲ相用ヒ申候軍起リ候時ハ何モノニテモ若キモノハ皆出張仕候筈ニ御座候

一毎年六月四日吉例ヲ以人々軍装束イタシ市中ヲ歩行廻リ申候是ハ北アメリカハ。イキリス人ノ開ク国故イキリスノ属国タルヨシ申来ルヲ。アメリカ人兼知不仕却テ。イキリスヨリ参居候船ヲアシク追ヒ帰ス依テ。イキリス人怒テ大勢攻来リ候処アメリカ中興ノ王。ヂヤキシン謀畧ヲ以防戦遂ニ六月四日大ニ打勝是ヨリ百餘年来大合戦無之其吉例ト申事ニテ候

一毎年寺院様ノ所ニテ十二ヶ條ノ法令ヲ讀候第一ニ親ヲ敬フベシ第二ニ人ヲ羨ムヘカラス第三ニ人ノ妻ヲ犯スヘカラス。第四ニ盗イタスヘカラス抔申事ニテ御座候是ニ背キタル腹アシキ者ハ捕ヘラレ罪人ニ相成申候

一罪人ハ皆大ナル囲ノ中ニ放シ置人々ノ得タル所ノ仕事ヲ為致罪ノ軽重ニヨリ年限ヲ以テ赦サレ申候織物類ハ皆罪人ノ製シ候品數々御座候

一人ヲ殺シ候者ハ刑罪ニ行ヒ申候柱ヲ立板ノ上ニ乗セ置又誌聞ヤ扨下ノセン抜候ヘハ罪人上ヨリ落掛リ首ヲ縊リ死申候趣ニ御座候ヘ𪜈及見ヒ不申候

一善事ヲナス人人ニ誉メラレ候ヘ𪜈褒美抔貰ヒ候様ノ事一向兼リ不申候

一王ヨリ俸銭ヲ貰ヒ受居候人ハ御座候官位昇進ナト、申事ハ都テ無之様ニ兼リ申候俸ノ加増致スヿハ御座候委ク兼リ不申候

第三談

烏王府北亜墨利加風畧相尋猶種々聞度候ヘ𪜈日暮ニモ相成候ニ付荒々相尋候処万次郎答ニ及候ヿ左ノ通

一アメリカノ人幼少ヨリモ死ニイタルマテ男女トモ姿ヲ変シテ男ノ元服女モ髪ヲ替ヘ眉ヲ落シ候様ノヿ都テ無之候

国立国会図書館　タイトル『土佐漂流人口書』　請求記号 862-1
ガラス使用

一婚禮之儀ハ仲人ト申ㇾ無之男女互ニ文通ナト致シ相馴レ候時親々則尓談ヲ以寺院ノ様ノ所江届出候ヘハ夫婦ニ相成候筈ノ者ヲ呼出シ一生夫婦ノ義ヲ守リ不義ノ心得不可有之旨被申聞其恥請ヲ致シ候ヘハ則吹聽ニ相成夫婦ノ名ヲ掛ケ札ニ記シ掛ケ置夫ヨリ夫婦并親類相連茶屋抔ヘ保養ニ参リ家ヘ連帰リ夫婦ニ相成申候冨人ニテ一妻ニテ妾ト申事ハ無之

一女子十四五歳相成候ヘハ夫トスヘキ人ヲ思ヒ立候ヲ第一之儀　數人立合致シ六ケ敷相成候事モ有之候ヘ𪜈度々ハ無之様ニ御座候親ノ気ニ入不申女ヲ妻ニ致シ候ヘハ忽チ勘當ヲ請候右様ノ義ハ毎々御座候惣シテ女眉目ヨロシキモノヨクク御座候様見及ヒ申候ヨクク湯ヲ遣ヒ候テハ白粉モ紅モ無之惣分種ニテ疱瘡仕候間アハタノ人無之候

一葬之義大抵日本ト同シ卧棺ニ納メ地江埋メ申候寺家躰ノ人来リ経ヲ読候ㇾモ仕候此人坊主ニテ無之妻子ハ無之由（イ有）

一死タル人ヲ祭ルトスヘテ無之墓ハシルシヲ立置折々草取ニ行申候

一文字ハ横文字二十字有之候テ萬事ニ通用仕間鳥ノ羽ニテ唐紙ノ様ナル紙ヘ書申候画ヲカリ取ハ筆ヲ用ヒ申候

一筭法ハ日本ト異リ不申候算盤ハ大ニ異リ方一尺計ノ紫色ノ石ヲ薄板ニ仕木ヲ以ヘリ致シ釘ノ様ナルモノニテ字ヲ堀リ付筭用仕候跡ニテ指ヲ以摺候ヘハ字消申候

一暦ハ西洋風ニテ閏月無之春三月夏三月秋三月冬三月トワケ三十日有之月モ二十九日有之月モ二十八日有之月モ御座候一年三百六十四八分一ニ割合セ月ノ満カケニ拘リ不申時ヲモ一日ヲ十時ニ割付時々ニ鐘ヲ撞申候

一銭ハ銅銀金銭有之候銀銭ノ小ハ銅銭ノ二枚ニ當ル銀銭ノ大ハ其小ノ十六枚ニ當リ凡五通リ御座候金銭ハ銀銭ノ大十數ニ當リ通用仕候

一器杖多ク硝子ヲ以製シ申候行燈挑灯モ皆硝子ニテ御座候フトン類皆羅紗ニテ閨ハ狭キ間ヲ建切木ニテ高サ三尺計ノ床ヲ拵ヒ其中ニ縄ヲ幾筋モ引渡シ有之其上ニフトンヲ敷寐申候夏モ硝子ノ戸ヲ建切蚊ノ這入処無之候蚊帳ハ用ヒ不申候

一羅紗ノ類カラクリヲ以易ラカニ織ナシ申候織屋有之買求候テ家ノ妻娘抔衣類ニ仕立申候

一遊女町格別日本ニ替リ不申候湊口ニ有之候萬国旅人ノ為ト相見ヘ申候安キ女ヲ買候ヘハ必ス病ヲウツサレ候ヨシ

一酒ハ數品有之候ヘ𪜈所ノ人惣テ醉ㇾヲ大ニ嫌ヒ呑不申車力抔ノ下賤ノ者ハ呑申候

一鴉片煙草嫌ヒ申候湊口ニテ印度清国都兒格ノ人々スワ〳〵スイ居候ヲ常々見及ヒ申候

国立国会図書館　タイトル『土佐漂流人口書』　請求記号 862-1
ガラス使用

一ヒヤナド申琴。ハンチウドゝ云三味線。セルコド申胡弓様ノ物御座候流行歌モ御座候
其歌ニイハリ　○向フノ坂ヨリ君カ来ル見レバ涙ヲ催シ。　又○朝霄ニツクル姿ハ誰カ為
外ニテアルマイ。ナト申様ヲウタヒ申候

一船ハ都テヨウロハ風ニ製シ申候印ハ異リ候ヘ𪜈船ハサノミ異リ申サス候大船ナレハ洋中
ニテ大濤ヲ乗ルニ覆没ノ恐無之旨申シ三十間以上ニ造リ申候

一陸ノ運送車モ馬モ用ヒ申候夫故大道ハ山ヲ越又様ニ迂遠ニ作リ御座候。レイロヲト申蒸気
車有之数十人是ニ乗リ力ヲ労セスシテ旅行仕候蒸気船ノ機ニ同シト申ヿニ御座候
近年制禁ニ相成候ヨシニテ見及ヒ不申候

一路次ニ高ク仕金ヲ引張有之是ニ書状ヲ掛ケ駅ヨリ駅江自ラ送リ飛脚ヲ労セス
中ニ行逢又様ニ徑来ノ差別ヲ仕リ御座候此機私ハ存申サス鉄ニテ磁石ヲ以吸
セ候様ニ相考申候

一洋中ニテ鯨ヲ捕リ候儀ハ先ツ鯨ヲ見付候時ハ小船五六艘卸シヨタクモリヲ打カケ其緒
𪜈幾里モ鯨ニ従ヒ行弱リタル時八分ニ大船ヘロクロヲ以巻揚ケ筒切ニ仕リ船中ノ中ノ大釜
ニテ油ヲ取申候肉ハ毒ト申テ其侭ニ捨申シ候

一船鮫ノ付候時ハ餌ニ豚ヲ以釣リ其皮ヲ取申候或ハ物ニテ突殺シ申候夜分洋中一面ニ
火ニ相成候ヿ毎度御座候其侭船ヲ乗カケ候ヘ𪜈火ニテハ無之候皆汐ノタヽヘ光ニテ
御座候其外火ノ楫ヘ飛来ルヿ御座候コレモ只ノ浮気ニテ風雨前抔ニ相見ヘ申候

一七年以前北アメリカ。ホーストント申処ノ軍艦一艘測量ノタメ諸国ヲ廻リ日本江入津仕候
処唯返ルヘシヽヽト申諭サレ空シク出帆イタシ候段畧兼リ申候此ヿハ委シク彼国ノ
書物ニ相記シ有之候。イキリス船ヲランタト偽リ日本ノ長崎江三度入津イタシ候ヘ𪜈
三度ナカラ見咎メラレ空シク出帆イタシ候ヿ𪜈彼国ノ記録ニ御座候

一亜墨利加書籍北極星ヲ初洋中航海ノ　百餘モ有之候南極ト申候
無之南洋中ニテ見及ヒ不申凡テ南ニハ星甚マレニ御座候南ニハ土地無之候間海気強クシ
テ見ヘ不申

一南亜墨利加南岬ヲ廻リ候片氷ノ流レ来ルヲ見申候大ナルハ四五里廻リモ有之候船ヲ行キ
當ラ又様ニノミ仕候

一東ノ紅海ノ水アカクハ無之海底ノ砂皆紅色ニテ御座候右ユヘ水面赤ク相見ヘ申候
同ヲヿト兼リ申候

一大洋中ニテ磁石ノ暗礁二ケ所有之是ニ近寄候片ハ釘迄抜ルト申ヿニテ大ニ恐レ申候
洋中ニテ鉄ノ狂ヒ候処其処ニ御座候

一洋中ニテ逆風ニ乗リ候事御座候ヘ𪜈亥風ニ亥江乗リ候ヘトモ子江落申候ウワホト
近海常ニ丑ノ方ヨリ吹風強処ニテ御座候。ウワホーヘ着タク南江乗抜タルヿ御坐候

国立国会図書館　タイトル『土佐漂流人口書』　請求記号 862-1
ガラス使用

白雲堂書店
神戸市坂口通五丁目
(市電上筒井終点西一丁浜側)
862
1

一亜墨利加南北ノ間山一ツニテワツカニ続キ第一狭キ処ハ五里計有之候是ヲ切抜候ヘバ航海甚
便利ニ候間切抜事ニ極リ申候処又其ミサキニ相成候ノ潮(シホ)ハ高ク旦潮ノ湧キ出ル処有之
切抜候ヘバメキシコノ方ヘ満来リ多ク地ヲ損シ候ト申ニテ止リ申候
右ハ少々ニテ数々兼リ度支御坐候ヘバ十一年ノ談話ヲ一日ニ兼リ候ヿ故疎畧甚シク且海
外ノ義甚不案内ニテ候間唯漂客ノ申ニ随ヒ相記シ置申候而已

嘉永五子年季秋

亜墨利加文字二十六 別ニ負数ノ字十ヨウロハ文字ニ同シ

イ、 チユイ ヲ、 チイ アキン クイ アイ
エン ヱン シイ アイヲ ヱンム アヽ タフリ ヨウ
ビイ ケイ ヱル キウ ヒイ ジ アイ
アス ケイ ヒイ ヱウ ワイ
二 三 四 五 六

国立国会図書館　　タイトル『土佐漂流人口書』　請求記号 862-1

ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『土佐漂流人口書』　請求記号 862-1

ガラス使用